キャンパス・アジア
共通質保証プロジェクト

独立行政法人
大学改革支援・学位授与機構

文部科学省「大学の世界展開力強化事業」国際質保証制度設計業務成果発信シンポジウム

国境を越えた高等教育の質保証：実践・視点・地域的アプローチの共有

"Quality Assurance of Cross-border Higher Education: Sharing Practices, Perspectives, and Regional Approaches"

登壇者
（敬称略、役職はシンポジウム開催時点のもの）

杉村　美紀
上智大学 学長
総合人間科学部
教授

Douglas Blackstock
欧州高等教育質保証協会（ENQA）前会長

西﨑　博光
山梨大学教授
国際化推進センター
センター長

Margot Van den Broeck
ルーヴェン・カトリック大学
大学教育質保証政策アドバイザー

Shuo Wang
EQEA
機関別評価処
副処長

堀田　泰司
NIAD-QE
研究開発部
客員教授

Dongseok Seo
KCUEイノベーション支援室　シニアディレクター

大学改革支援・学位授与機構（NIAD-QE）は、中国及び韓国の質保証機関である、中国教育部教育質評価センター（EQEA）及び韓国大学教育協議会（KCUE）と連携し、アジアにおける質の保証を伴った大学間交流・学生交流の活発化に寄与するため、アジア諸国の大学コンソーシアムの持続的な質保証の取組を支援する枠組みとして、2021年から4年間にわたり「共通質保証基準」（https://qacampusasia.niad.ac.jp/）の策定に取り組んでまいりました。

このたび、2025年4月に基準が確定したことを受け、その成果を広く発信するため、シンポジウムを開催いたします。

令和７年11月4日(火)

Nov.4,2025　14:00-17:30 JST

参加無料 FREE

開催形式　**ハイブリッド形式** HYBRID

対面会場　**学術総合センター　中会議場**
東京都千代田区一ツ橋2-1-2
学術総合センター2階

会場定員先着順　100名
（オンライン参加は上限なし）

JAPANESE-ENGLISH SIMULTANEOUS INTERPRETATION AVAILABLE

日英同時通訳付

参加登録 Registration

機構ウェブサイト上で参加登録受付中(10/28締切予定)
https://www.niad.ac.jp/event/event2025/entry-5768.html

Email: ca-monitoring@niad.ac.jp

テーマ・開催趣旨

国境を越えて提供される高等教育の質保証は、2005年のユネスコとOECDによるガイドライン「Guidelines for Quality Provision in Cross-border Higher Education」策定の例にみられるように、20年以上にわたり高等教育の国際的アジェンダとされてきた。それは、柔軟な学習の展開やAI（人工知能）の急速な進化への対応といった高等教育の現代的課題と並んで、変わらず優先度の高いアジェンダとされている。

各国・地域では、国境を越えて提供される高等教育の質保証のための手法の開発・実践が長年取り組まれているが、国境を越えた教育の進展や変化にキャッチアップするため、その手法のアップデートも試みられている。そのような潮流の中で、日中韓３か国の政府による国際的な大学間交流イニシアティブである「キャンパス・アジア」では、拡大する大学間交流を踏まえ、日中韓の質保証機関である当機構、EQEA、KCUEが連携して、質の保証を伴った大学間交流を支えるための手法として「共通質保証基準」を策定した。当機構は、文部科学省「大学の世界展開力強化事業（国際質保証制度設計業務）」の補助事業者として、本取組を推進してきた。

国境を越えて提供される高等教育の質保証に当たっては、各国・地域の文脈や重視する要素の差異を把握し、それを尊重しながら、関係するシステムや機関同士の質の共通理解を図ることが重要である。また、その前提として、これらの情報の透明性が不可欠である。そこで本シンポジウムでは、国境を越えて提供される高等教育の質保証の中でも、特に国際的な大学間交流プログラムの質保証に焦点を当て、アジア及びこの分野で先行的な取組を行う欧州における政策的な動きや、「キャンパス・アジア」採択コンソーシアム及び欧州域内での国境を越えた大学間コンソーシアムである「欧州大学」の取組事例について、それぞれの関係者より紹介いただく。また、質保証機関による取組事例として、当機構が中国及び韓国の質保証機関と共同で策定した「共通質保証基準」の内容を取り上げながら、国際的な大学間交流プログラムに求められる質について議論する。

本シンポジウムでは、こうしたプログラムの質保証に関する理念や実践、アプローチについて理解を深め、共に考えながら、アジアにおける国際的な大学間交流プログラムの質の一層の向上につなげる機会としたい。

プログラム（予定）

プログラムの構成や内容は変更する場合があります。

14:00−14:05	**開会挨拶** **服部　泰直**　大学改革支援・学位授与機構 機構長
14:05−14:10	**佐藤　邦明**　文部科学省高等教育局参事官（国際担当）
14:10−14:40	**Advancing International Higher Education in Asia: Functions and Implications of Common Quality Assurance Standards** **杉村　美紀**　上智大学 学長／総合人間科学部教授
14:40−15:05	**Initiatives of Internal Quality Assurance in the “Asia Real Problem Solving-Driven AI Education Program” in Partnership with Four Asian Universities** **西﨑　博光**　山梨大学教授／国際化推進センター センター長 （キャンパス・アジア　A^{3}I:アジア実問題解決駆動AI教育プログラム）
15:05−15:25	**休憩・ネットワーキング**
15:25−15:55	**Quality assurance - building trust and confidence in Cross Border HE** **Douglas Blackstock**　欧州高等教育質保証協会（ENQA）前会長
15:55−16:20	**Shaping the umbrella. Una Europa's internal quality assurance process for joint education** **Margot Van den Broeck**　ルーヴェン・カトリック大学大学教育質保証政策アドバイザー （欧州大学　Una Europa）　【オンライン参加】
16:20−16:50	**共通質保証基準の策定** **Dongseok Seo**　KCUE大学イノベーション支援室シニアディレクター **Shuo Wang**　EQEA機関別評価処副処長　【オンライン参加】 **堀田　泰司**　NIAD-QE研究開発部客員教授
16:50−17:00	**休憩**
17:00−17:25	**パネルディスカッション**
17:25−17:30	**閉会挨拶** **光石　衛**　大学改革支援・学位授与機構 理事